

旧牛潟保育所解体工事 特記仕様書（機械設備）

I、工事概要

- 1、工事場所
- つがる市牛潟町村上地内
- 2、敷地面積
- ――
- 3、建物概要

建物名称	構 造	階 数			建築基準法による 延べ面積（㎡）	区 分	備 考
		階建	地下	塔屋			
旧牛潟保育所	鉄骨造	1			575.10 ㎡	取りこわし1棟	

- 4、工事種目
- 旧牛潟保育所 機械設備 取りこわし一式
- 屋外 機械設備 取りこわし一式

II、工事仕様

1、共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和7年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版）」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）令和7年版）」（以下「標準図」という。）による

2、特記仕様

（1）一般共通事項 （●印のものを適用する。）

○官公署への手続き等 工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。

- 貯油槽 廃止届けとする。
- ボイラー 廃止届けとする。
- 給水装置 廃止届けとする。
- 浄化槽 廃止済。
- 排水設備 廃止届けとする。
- 昇降機 廃止届けとする。
- 都市ガス設備 廃止届けとする。

○廃酸・廃アルカリ処理 吸収冷凍機、吸収冷水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事 ○工事範囲外）とする。

○ダイオキシン類調査 焼却炉等の撤去前に焼灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（○本工事 ○工事範囲外）とする。

●廃油処理 オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（●本工事 ○工事範囲外）とする。

○冷媒（フロン類）の回収 冷凍機、パッケージ形空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2．4．3により適切に行うこと。ただし、家電リサイクル対象機器は除く。 冷媒回収の費用は（○本工事 ○工事範囲外）とする。

○家電リサイクル 対象機器は、 とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。）

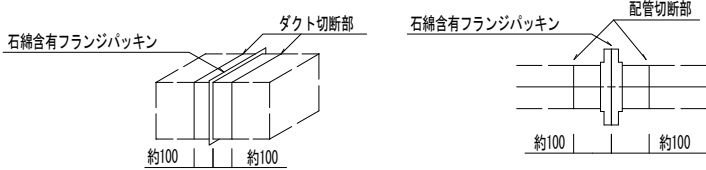
○汚泥・汚水処理 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（○本工事 ○工事範囲外）とする。

○アスベスト含有製品処理

○ 本工事

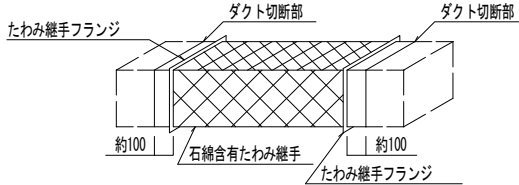
ダクト及び配管のフランジパッキン、たわみ継手及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。

撤去するフランジ部、たわみ継手及びエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。



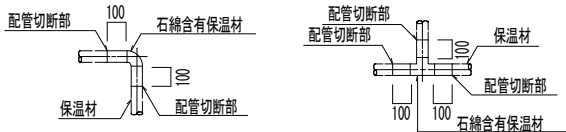
フランジ部撤去参考詳細図

1. 切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。



たわみ継手部撤去詳細図

1. 石綿含有たわみ継手の撤去はたわみ継手の前後フランジ部から約100mm間隔を開けてダクトを切断する方法とする。なお、フランジ部の撤去については前述するフランジ部撤去と同じ方法とする。ただし、石綿含有たわみ継手の切断及びフランジの分解を行わないように注意する。



配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図

1. 切断にあたり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

● 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空調調和	○ 冷温水、冷却水	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ ポリエチレン管
	○ ドレン管	○ 硬質塩化ビニル管（V P） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 油	● 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 冷媒管	○ 冷媒用被覆銅管
給水	● 屋内給水管	○ 水道用亜鉛メッキ銅管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ● ポリエチレン粉体ラインニング鋼管
	● 屋外給水管	○ 水道用硬質塩化ビニル管（VW） ● ポリエチレン管 ○ 塩ビラインニング鋼管（V D）
給湯	● 給湯管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 銅管 ● 耐熱性塩ビラインニング鋼管（V D）
排水	● 汚水管	○ 排水用铸铁管 ○ 塩ビラインニング鋼管 ○ 鉛管 ● ビニル管（V P）
	● 雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（V P）
	● 通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ● ビニル管（V P）
	● 屋外排水管	○ コンクリート管 ● ビニル管（V P）
ガス	● 屋内ガス管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 屋外ガス管	○ ガス用ポリエチレン管 ● 配管用炭素鋼鋼管（白）

- ダクト種別 ● 垂鉛鉄板 ○ 鋼板製
- 保温種別 ○ ロックウール保温材 ● グラスウール保温材 ● ポリスチレンフォーム保温材 ● 化粧ケース（樹脂製）
- 衛生器具 ● 陶器製 ○ S U S 製

III. 取りこわし内容

（1）共通

- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
- コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
- ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。
- オイルタンク

- オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
- オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
- オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。

● 浄化槽

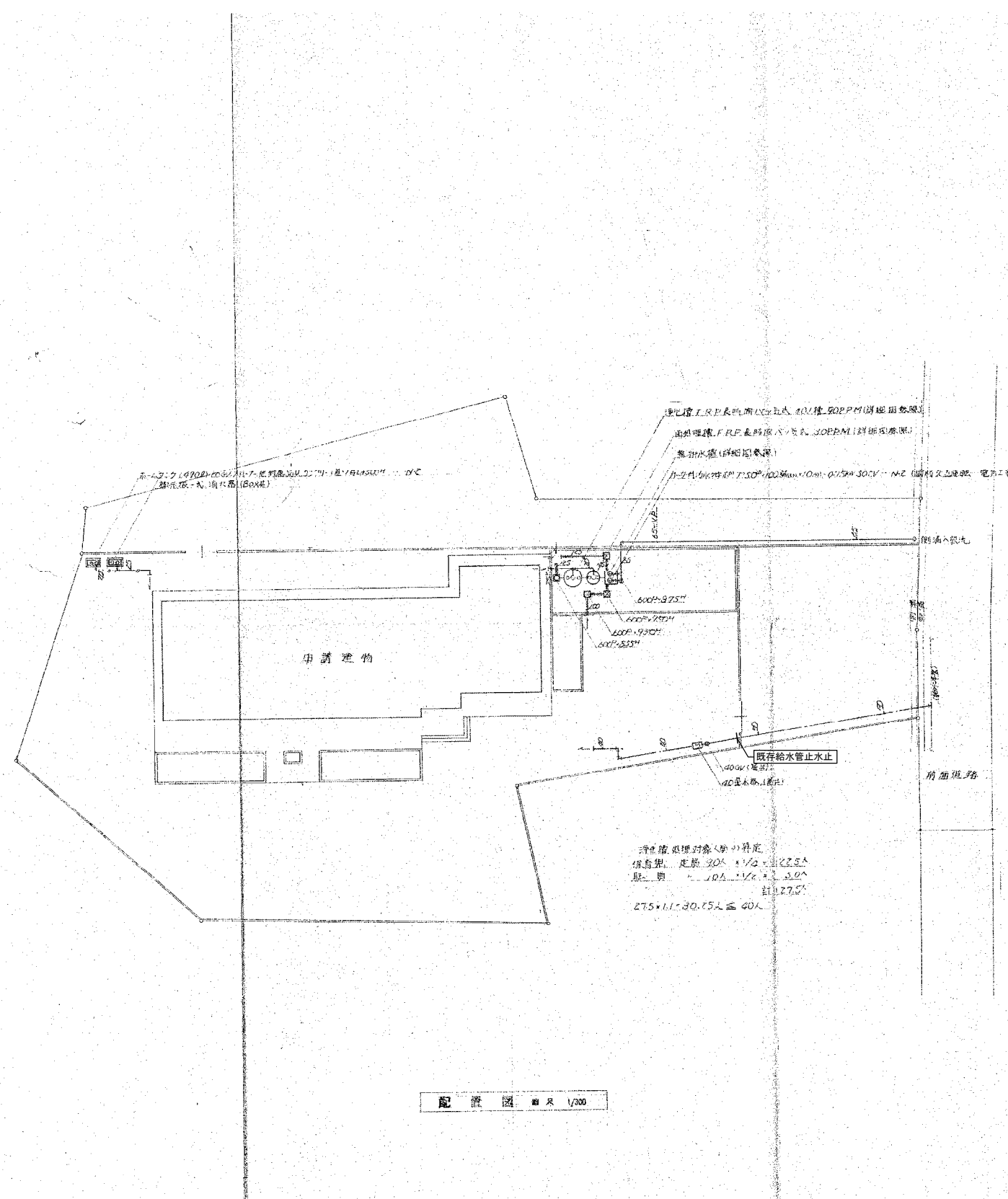
- 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。
- 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

● 屋外設備

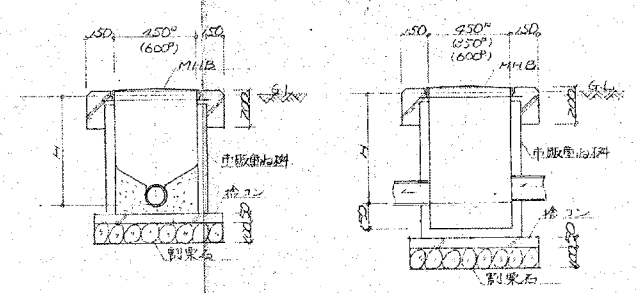
- 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。
- 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。
- 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

- 給水装置 ○ 本管にて閉栓とする。 ● 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。 （津軽広域水道企業団と打合せを行うこと。）
- 排水設備 ○ 本管にて閉止とする。 ● 公設樹にてキャップ止めとする。 （つがる市役所下水道課と打合せすること。）
- 都市ガス設備 ○ 本管にて閉栓とする。 ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

	青森県五所川原市宇字不魚住75番地12 TEL.0173(35)8885・FAX0173(35)8886				旧牛潟保育所解体工事	
	有限 秀 建 築 設 計 事 務 所				SCALE	DR. No
	一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 秀昭				M-01	
	DATE	AP	CH	DR	機械設備特記仕様書	
	R 8 . 8					

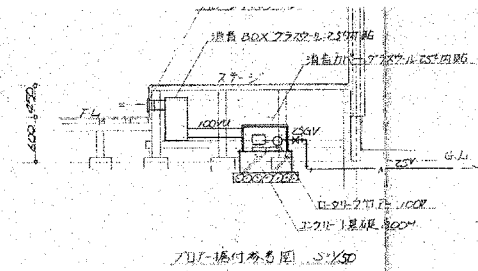
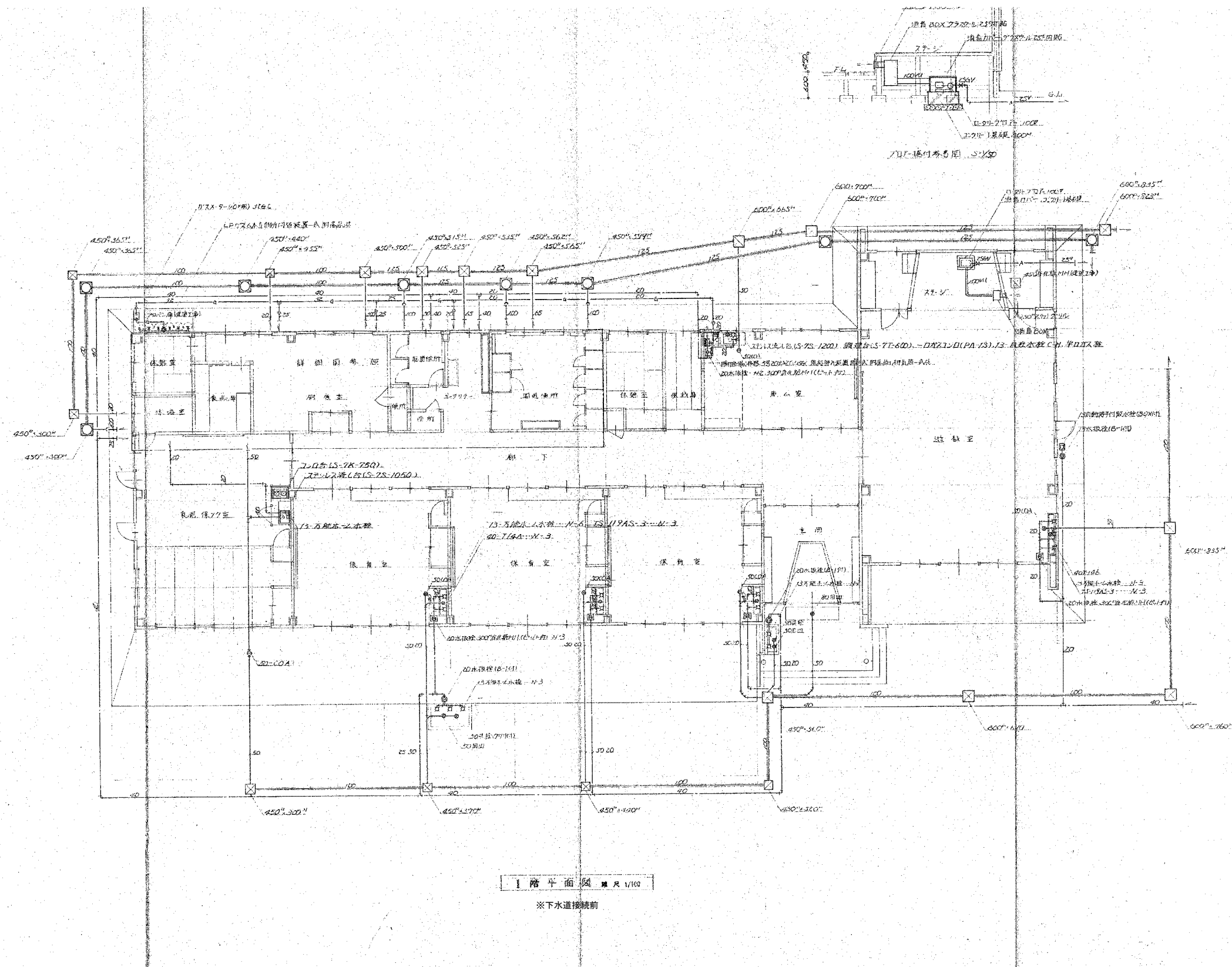


配置図 図尺 1/300

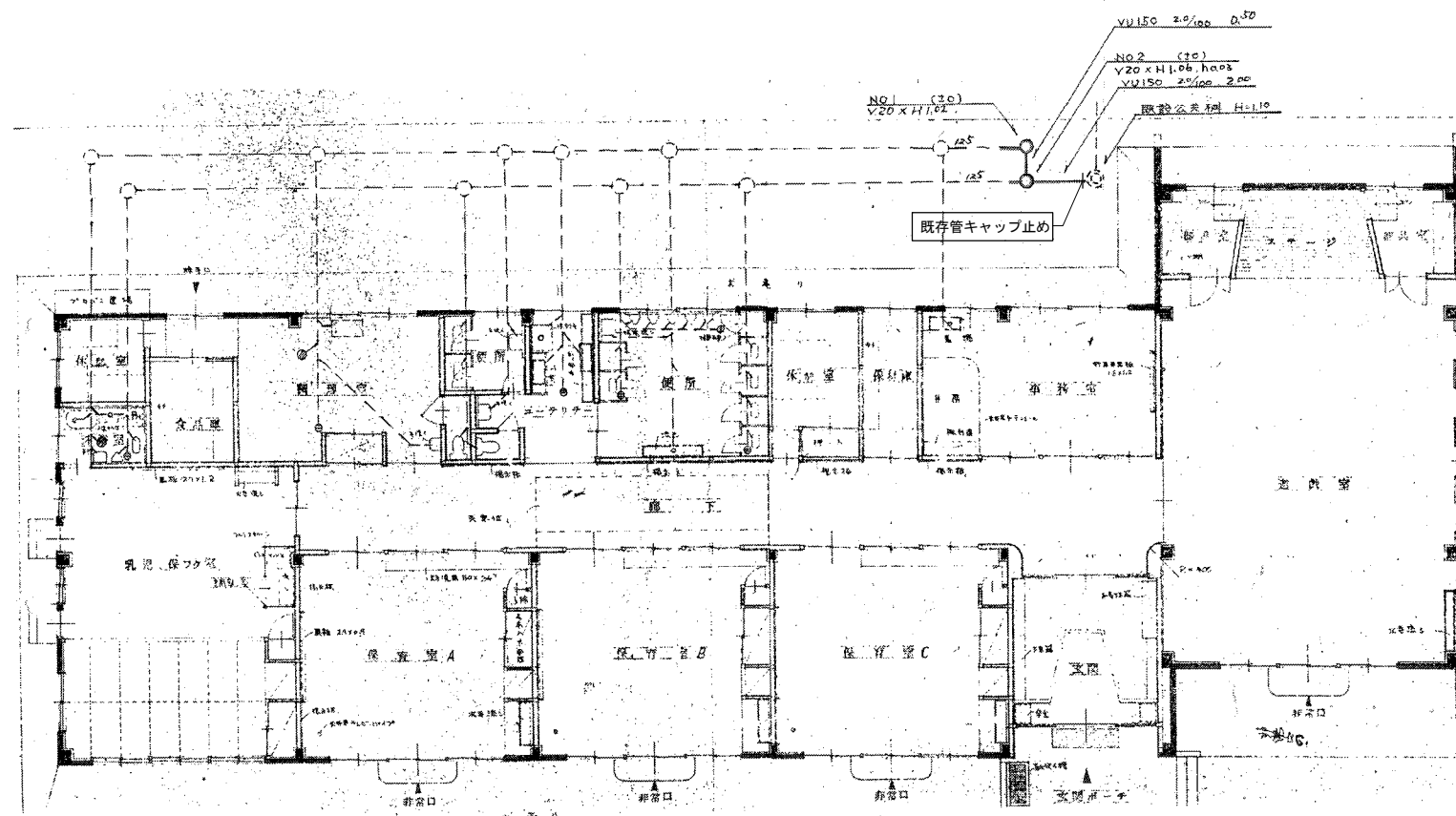


汚水側詳細図 S-1/20 雑排水側詳細図 S-1/20

凡 例		
凡 例	名 称	備 考
—	給 水 管	VLP
—	給 湯 管	被覆銅管
—	汚 水 管	屋内外VP
—	排 水 管	屋内外VP (注:SGP(白)汚水用、クレンジ)
—	通 風 管	VP
—	ガ ス 管	SGP(白)
—	油 管	銅管
□	給水栓給湯栓	
①	水 取 栓	
②	排水金物	排水金物はJIS10K化JIS5K
③	掃 除 口	
④	ガ ス 栓	安全装置付
⑤	ガ ス コック	
□	汚 水 側	市販品とMHBコナート橋梁
⊗	雑排水側	市販品とMHBコナート橋梁
—	FF温風機機	電 圧 100V 100W 100V 100W
—	電気ハルヒタ	電 圧 100V 100W 100V 100W
備 考		
1. 給水設備は専ら給水条件による。		
2. 器具廻り排水管は鉛管を使用する。		



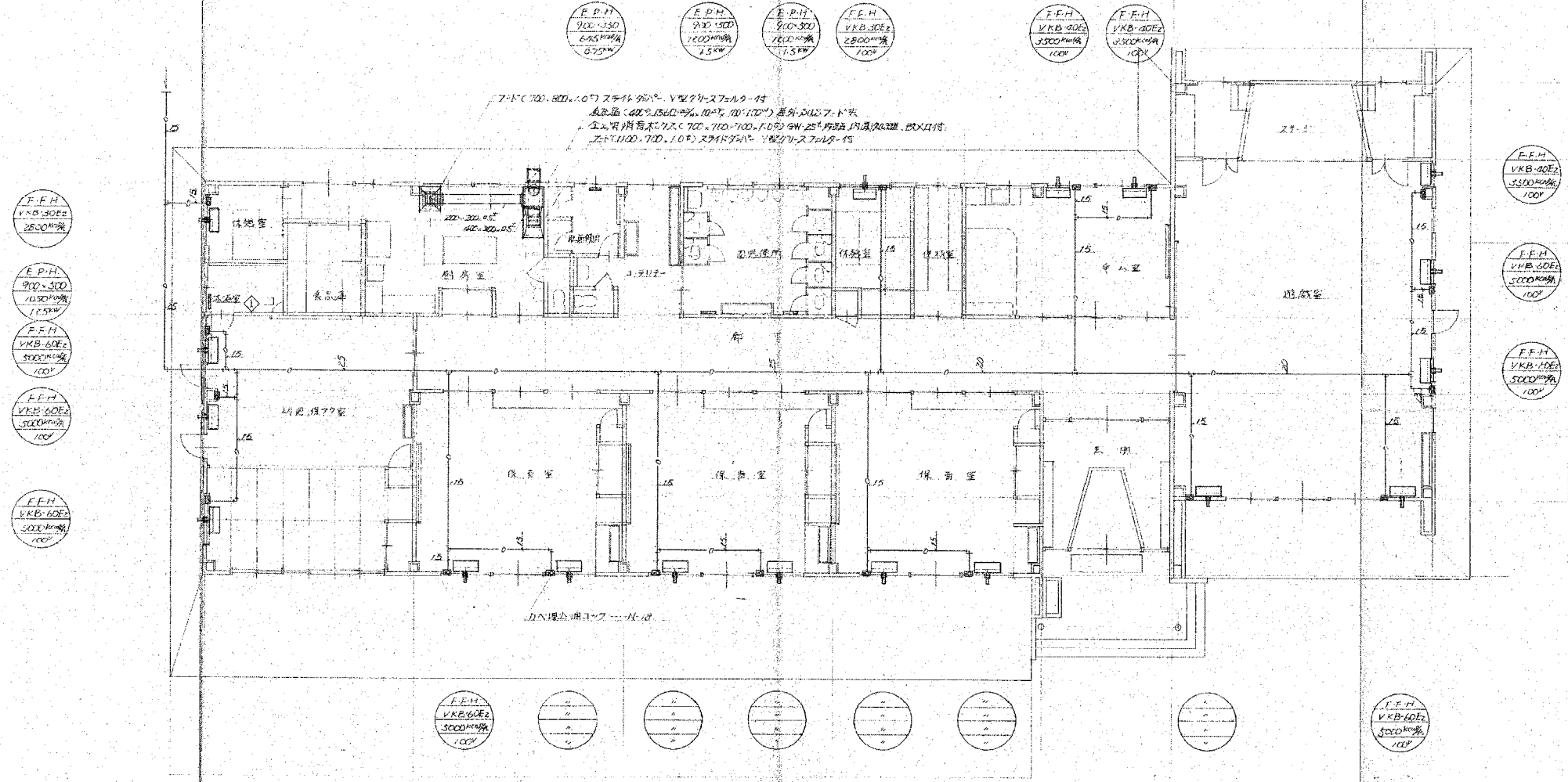
青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL0173(35)8885-FAX0173(35)8886				旧牛湯保育所解体工事	
秀建築設計事務所				SCALE	DR. No
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 秀昭				1/100(A1), 1/200(A3)	M-03
DATE	AP	CH	DR	機械設備撤去図-2	
R 8. 8					



平面図 1/100
※下水道接続後

青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL.0173 (35) 8885・FAX0173 (35) 8886				旧牛潟保育所解体工事	
有限会社 秀建築設計事務所				SCALE	DR. No
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 秀昭				1/100 (A1)、1/200 (A3)	M-04
DATE	AP	CH	DR	機械設備撤去図-3	
R 8. 8					

厨房排気量の計算
ガスレンジ V-KQ = 129.40 x 9.4m² x 0.7 (使用率)
= 1229 m³/h
ガス給湯機 V-KQ = 129.40 x 0.77m² x 0.7 (使用率)
= 249 m³/h
計 1508 m³/h



1 階平面図 縮尺 1/100

青森県五所川原市宇不魚住75番地12 TEL.0173 (35) 8885・FAX.0173 (35) 8886				旧牛潟保育所解体工事	
有限 秀建築設計事務所				SCALE	DR. No
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 秀昭				1/100 (A1), 1/200 (A3)	M-05
DATE	AP	CH	DR	機械設備撤去図-4	
R 8. 8					

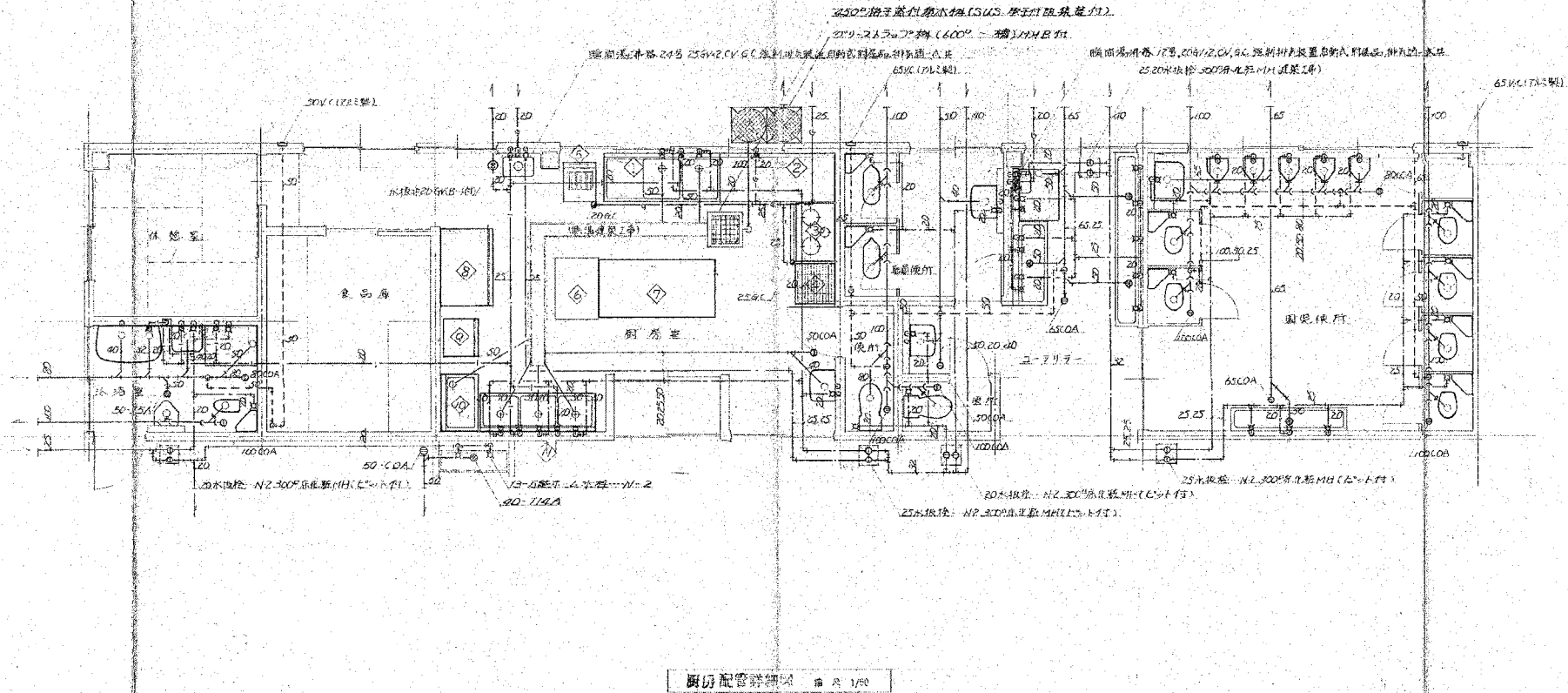
衛生器具表

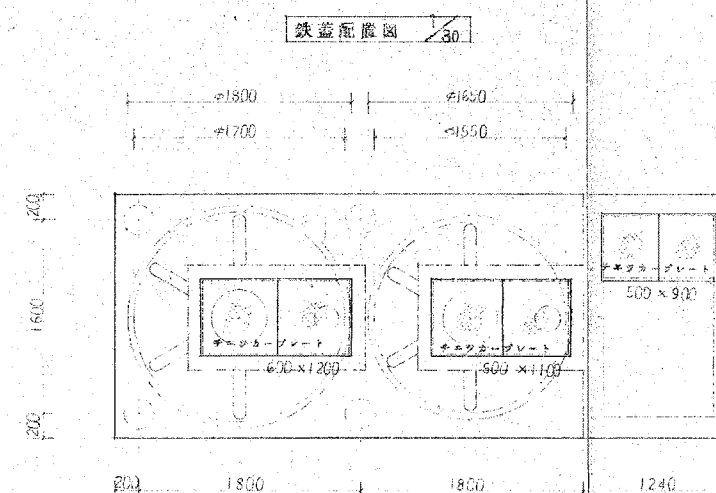
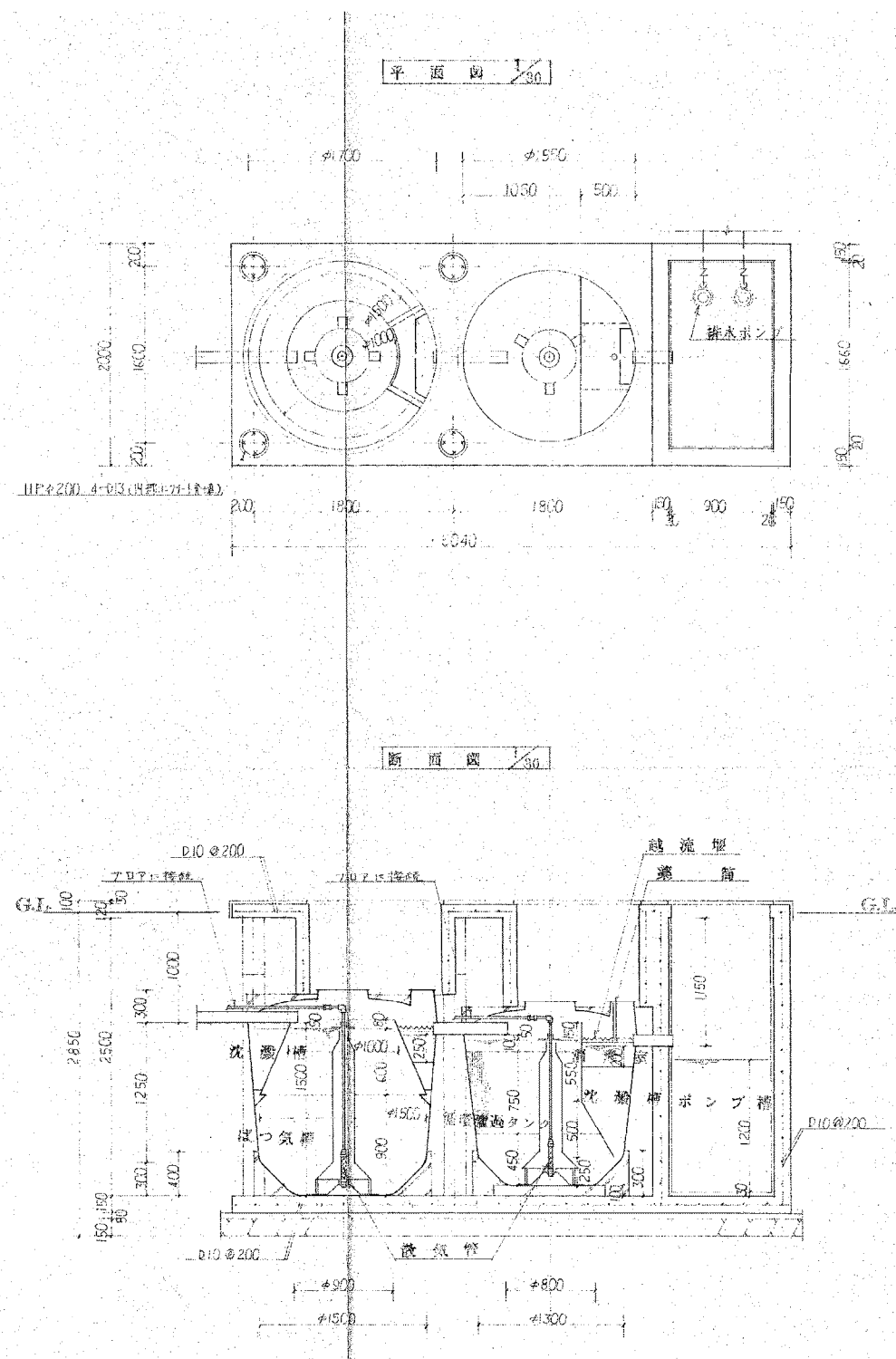
名 称	仕 様	図 説 所	工 法 詳 記	取 扱 所	耐 腐 性	注 意 事 項
洋風大便器	C-730 11-75-7515 熱巻器TS-116R 耐腐金具-A		1組		1組	
和風大便器	C-730 11-75-7515 熱巻器TS-116R 耐腐金具-A		2組			
手洗用脚踏便器	C-730 11-75-7515 熱巻器TS-116R 耐腐金具-A	6組				
幼児用脚踏便器	C-730 11-75-7515 熱巻器TS-116R 耐腐金具-A				1組	
小便器	U-100 1-50P 耐腐金具-A	5組			1組	
洗面器	L-330 水栓75-26.75-126.75 TS-116R 耐腐金具-A	1組	1組	1組	1組	
手洗器	L-330 水栓75-26.75-126.75 TS-116R 耐腐金具-A				1組	
掃除機	L-330 水栓75-26.75-126.75 TS-116R 耐腐金具-A	1組				
辺境バス	BH-26 75-26.75-126.75 TS-116R 耐腐金具-A				1組	
洗面器	SK-504 耐腐金具-A				1組	
洗濯機	FW-20		1台		1台	
自在水栓	1.5-120V-13 (C.H.)		4台		8台	
万能水栓	7-200V-13 (C.H.)	3台	7台		2台	
線型水栓	7-200V-13 (C.H.)				2台	
化粧鏡	TS-116R 3	3枚	5枚			
流し排水金物	T-12A 50	1台	3台			

厨房機器表

※厨房機器の撤去は建築工事の残置物処理とする。

N.O	名 称	規 格	水	湯	ガス	排水	電気	備 考	動 力
1	水栓二重シンク	800×750×800	○	○					
2	調理台	1800×750×800							
3	ガスレンジ	900×600×800			○			LPガス 3.4kW	
4	エレクトーンエール	610×610×1500							
5	ガスフライヤー	500×600×850			○			LPガス 0.77kW	
6	蒸 機	900×660×825							
7	盛 付 台	800×900×800						両面付 棚付	
8	1700×800×1800						○		3°-200°-0.65kW
9	食器洗台	580×550×1700					○	1700×550	3°-200°-3.1kW
10	水 切 台	700×600×800				○			
11	食器洗台シンク	1800×600×800	○	○		○			
備 考 ステンレス11系									
4 板 1.0°-1.21° SUS430 槽 1.2°-1.3° SUS430 7.7L 40×40×3 SUS430									
15 板 0.8° SUS430 スリ 棚 40×40 SUS430 1700×550 SUS304									





浄化槽容量表		
40人増30PPH(接陸15式)普通型		
ばっ気槽	2.150	m³
沈殿槽	0.603	m³
傾斜濾過タンク	1.559	m³
沈殿槽	0.272	m³
消泡室	0.051	m³
ポンプ槽	1.792	m³
消毒装置	ハイロン錠剤使用	
ロータリーフロア	100V×150W	
材質	FRP(強化プラスチック)	
排水ポンプ	200V×0.75kW	
	自動々々、排水同時運転	

注: 埋戻しには砂を使用。事